

CNJ Speakers

Know(≠No)More Cancer 私たちは、もっと伝えたい



No.
18

Special Talk / 間野 博行×橋本 佐与子×後藤 悌
CNJ News / CNJ Report
海外がん医療 TOPICS / プレシジョン医療に向け、米国で 100 万人を対象にゲノムと健康状況、生活習慣の研究を開始

今、知っておきたい 「がんゲノム医療」とは

個々、日本、世界、そして将来につながるがん医療へ

AYA 世代、サバイバーシップなど、現代のがん医療には、様々な新しい言葉が飛び交っています。なかでも最近話題となっているのは、「がんゲノム医療」。個々の遺伝子を調べて最適な治療を行うというもので、今後のがん医療において期待が高まっています。

今回お話をうかがうのは、がんゲノム医療研究の最先端をいく、国立がん研究センターの間野博行先生と後藤悌先生。がんゲノム医療が今後保険診療となっていく中で、私たち個人として、そして日本という視点でも知っておくべきポイントについて分かりやすく解説していただきました。聞き手は、MBS 報道記者の橋本佐与子さんです。



間野 博行

国立がん研究センター
理事・研究所長



橋本 佐与子

MBS 報道記者



後藤 悌

国立がん研究センター
呼吸器内科

1984 年東京大学医学部医学科卒業。
1986 年東京大学医学部第三内科入局。
その後、同内科助手、自治医科大学分子生物学講座講師、自治医科大学ゲノム機能研究部教授、東京大学大学院医学系研究科細胞情報学分野教授を経て、2016 年より現職。EML4-ALK 肺がん原因遺伝子の発見等で、紫綬褒章、慶應医学賞、武田医学賞など受賞。

MBS（毎日放送）入社後、記者クラブを経て医療取材を開始。臓器移植、食物アレルギー、再生医療などを長年取材。2000 年～2007 年まで夕方ニュース番組「VOICE」キャスター。MBS が始めた JUMP OVER CANCER「がん検診啓発キャンペーン プロジェクト」チーフディレクター。現在はドキュメンタリー番組をメインに担当。2018 年 3 月「がんゲノム」を放送。

2003 年、東京大学医学部卒業。都内で研修後、2006 年から国立がんセンター中央病院内科に勤務し、2010 年より東京大学医学部呼吸器内科。2014 年 11 月より現職。肺がんに対し呼吸器学および腫瘍学の観点から治療に取り組む傍ら、医療の情報の質や伝達方法に関心をもち活動中。

がんゲノム医療は、 今、そして将来への 大きな一歩

がん種を超えて、 広がる治療のチャンス

橋本佐与子（以下、橋本）…これまでのがん薬物療法というと、基本的にがんの種類によって使うお薬を選んでいました。今、話題となっている「がんゲノム医療」は、患者さんそれぞれのゲノム（＝遺伝子の集合体）を調べることによって、より適した治療法を見つけることができる画期的な方法ですが、その研究のきっかけとなったものは何でしょうか。

間野博行（以下、間野）…以前、私たちは、肺がんの原因のひとつである「ALK（アルク）融合遺伝子」を発見しました。

その場合はALK遺伝子異常に効果のあるお薬を使い、治療を行います。その後の研究で、ALKは、肺がんだけでなくいろいろながんの原因となっていることが分かりました。そして、その場合も肺がんで効果のあった薬で治療できることが明らかになったんです。

がん種を超えて同じ薬で治療することができます。その発見が、今日のゲノム医療をもたらしただひとつのきっかけと言えると思います。

「これまでは治療を受けるチャンスがなかったようながんでも、遺伝子を調べて治療できるようにしよう」それこそがゲノム医療です。

後藤悌（以下、後藤）…間野先生がALKを発見されてから、基礎的な研究の成果がこんなに早く患者さんに応用できるようになったということを実感できたことは何よりの驚きです。そうして、次に見つかるものも、すぐに患者に届けられるのではないかという期待が高まりました。そういった成功例が一番のインパクトでしたね。

まさに次世代！ でも過度な期待は禁物

橋本…がんゲノム医療に関しては、「次世代シークエンサー」「遺伝子パネル検査」といった聞きなれない言葉も出てきていますね。

間野…これらは、がんゲノム医療の技

術革新のことです。「シークエンサー」とは、遺伝子の塩基配列を読み出す装置のこと。これまでのシークエンサーは1回の操作で5万個くらいまでの塩基を読めるものでした。それが「次世代シークエンサー」では数百億〜数千億個の塩基を読めるようになっていきます。

また、「遺伝子パネル検査」とは次世代シークエンサーを使って遺伝子を一度にまとめて解析するキット（遺伝子パネル）での検査のことです。遺伝子パネルにはいろいろなあり、少数だけ調べられるもの、大量に調べられるものもあります。保険適用されたお薬だけに対応する遺伝子パネルなどもあります。

橋本…患者さんにとって期待が大きくなるお話ですが、どのくらいの方が適合するお薬を見つけれられるものなのでしょうか。

間野…残念ながら、今のところ治療薬の選択に関係する遺伝子を見つけれられる割合はあまり大きくありません。日本での大規模なスタディはまだありませんが、米国では15〜20%程度。日本は薬の供給の仕組みが違うため、もつと少ないと思われます。ゲノム医療に過度な期待をされるのはよくありません。

ただ、これまで治療法を見つけれなかった人が見つけれられることもありますし、今後、がんの研究と薬の開発が進歩していけば、見つけれられる割合は伸びていきます。将来に向けては、希望が大きくあるような研究と言えます。

橋本…現在は、ある種類のがんでは保険承認された薬であっても、ほかのがん種では承認されていないといった問題点もありますね。

後藤…ゲノム医療は検査することが目的ではなく、治療できるようにしていくことが大切なため、「ゲノム難民」を作らないようにしていかなければいけません。検査する体制ができれば、次は出口戦略を作っていく必要があります。有効かもしれない治療法があれば、それを患者さんが受けられるようにしていく体制作りが次の課題かと思っています。

保険適用となる中で、 個々だけでなく日本としての 視点も重要



保険適用は間近！ しかし課題も多い

橋本…ゲノム医療を行うための、国の制度は整いつつあるのでしょうか。

間野…おそらく来年（平成31年）には保険適用になるだろうと言われていきます。それに向けて、現在、体制作りをしているところです。

諸外国と比べ、この「国民皆保険制度」が整備されているのが日本の特殊なところです。遺伝子パネル検査はお金がかかりますが、海外ではそれをカバーできる保険に入っている人だけが受けることができるのが現状です。しかし今後、日本では数十万人が利用するような状況になる。それだけの人数を支えるだけのインフラが必要になってきます。最初からそのすべてをカバーすることは難しいため、段階的にゲノム医療を実現していくことになると思います。

最初の保険承認で、どのような患者さんを対象とするかは、私たちもまだ分かっていません。ですが、私たちとしてはできるだけ多くの人が受けられるようにしていきたい。できれば治療の早期からお薬の選択に役立てるようにしてほしいと思っています。

橋本…遺伝子パネル検査の金額は、どれくらいになると予想されますか。

間野…諸外国の価格は30～60万円なので、日本でもやがてはそのくら

いになっていくと思います。

後藤…検査だけでなく、その後にかかるお薬の金額も意識する必要があります。現在、治療の薬価は月に100万円という時代です。ゲノム医療が保険診療になった時の日本全体のインパクトを考えると、もっと大きな問題としてとらえる必要があります。

皆保険制度は、「最大の 問題であり、最大の長所」

橋本…皆保険制度は様々な一筋縄ではいかない部分がありますね。患者さんとしては保険適用になるとありがたいところかと思いますが、医療の発展という意味では何かメリットがあるのでしょうか。

後藤…保険診療で行うならば、国として、プラスαのものを作っていくことが大切です。現在、間野先生が中心となつて国家規模のデータベースを作ろうとしています。そのようにしてデータを蓄積していけば、がんゲノム医療は、現在の個々の患者さんのためだけではなく、将来の患者さんにつながっていきます。日本のみならず、世界へ向けて情報をアップデイトしていくことも大切だと思います。

間野…皆保険制度は、日本でゲノム医療を行う最大の問題ですが、同時に最大の長所でもあります。全国の患者さんのゲノム情報をデータとして集めることができれば、それを元に研究ができます。が

んの原因や薬の耐性の原因を調べることにつながり、それを克服する薬が作られるなど、開発研究のリソースの宝庫にもなります。保険診療で行う限りは、そのような仕組みを作らないといけないと思います。

ゲノム医療が本格化する中、 私たちが持つておくべき リテラシー

橋本…ゲノム医療の登場により、日本のがん医療は飛躍的に進歩しています。その中で、私たちが意識しておくべきことはありますか？

間野…これからは、「がんは後天的遺伝子異常によつて起こる」などの基本的なことは中学校の授業などで必須項目として学んでおくべきだと思います。そうすれば、がんや遺伝子検査への茫漠とした恐怖はなくなると思うんです。ゲノム医療は、日本にとつてものすごく大事なプロジェクト。それが行われていく中で、日本人全員がリテラシー持っていかなければならないと思います。

橋本…これからのがん教育の中で、遺伝子についてもふれていけたらいいですね。本日は、貴重なお話をありがとうございました！

がんゲノムについては、

今年のJCFでも取り上げます。

詳細は、左ページでご確認下さい。

文／木口マリ
写真／山本華漸



ジャパンキャンサーフォーラム

がんを「知り」「学ぶ」「集う」がん患者さんやご家族のための 日本最大級のがんフォーラム

ジャパンキャンサーフォーラム（JCF）は、2014年から開催されている日本最大級のがんフォーラム。患者・家族をはじめ、医療従事者等、「がんに興味・関心を持っている」方ならどなたでもご参加いただけます！

大腸がん、胃がん、乳がん、肺がん、前立腺がんなどの5大がんのほか、情報が得にくい、罹患者数が少ないがん、お金や、就労、栄養など、生活周りの情報もお届けします。是非、ご来場ください。

8月

11日
(土)

1日目

(開場11:30)

参加費
無料

予約
不要

どなたでも
参加可能

8月

12日
(日)

2日目

(開場9:30)

会場	研究棟1F			研究棟8F	研究棟13F
時間	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場
11:30	開場（受付開始）			8Fと13Fは予約制です！ お申込みはWEBから！	
12:00-	12:00-12:30 オープニングセッション 「超・入門編」 石黒 めぐみ 先生 東京医科歯科大学大学院	12:00-14:00 がんサバイバーの 声を聴こう！ さまざまながん種の体験談や、 がんとの向き合い方、 現在の活動などを発表！ COMING SOON	12:00-12:50 難治性がんに向き合う 共催：NPO法人希望の会 朴 成和 先生 国立がん研究センター中央病院		
13:00 -14:00	大腸がん 志田 大 先生 国立がん研究センター中央病院	がん・生殖医療 共催：NPO法人婦人科悪性腫瘍研究機構 鈴木 直 先生 聖マリアンナ医科大学	中皮腫 共催：中皮腫・アスベスト疾患・患者と家族の会 岡部 和倫 先生 山口宇部医療センター	肝臓がん 國土 典宏 先生 国立国際医療研究センター 奥坂 拓志 先生 国立がん研究センター中央病院	
14:30 -15:30	がん免疫療法 共催：日本がん免疫学会 河上 裕 先生 慶應義塾大学 北野 滋久 先生 国立がん研究センター中央病院	がん治療とバイオ医薬品 共催：くすりの適正使用協議会 若林 進 先生 杏林大学医学部付属病院 石井 明子 先生 国立医薬品食品衛生研究所	卵巣がん 共催：NPO法人婦人科悪性腫瘍研究機構 田部 宏 先生 国立がん研究センター東病院	皮膚がん 共催：日本皮膚悪性腫瘍学会 山崎 直也 先生 国立がん研究センター中央病院	胆道がん 國土 典宏 先生 国立国際医療研究センター 奥坂 拓志 先生 国立がん研究センター中央病院
16:00 -17:00	がんと就労 高橋 都 先生 国立がん研究センター がん対策情報センター	肺がん 坪井 正博 先生 国立がん研究センター東病院 後藤 梯 先生 国立がん研究センター中央病院	子宮頸がん 共催：NPO法人婦人科悪性腫瘍研究機構 武隈 宗孝 先生 静岡県立静岡がんセンター	膀胱がん 菊地 栄次 先生 慶應義塾大学病院	脳腫瘍 高橋 雅道 先生 国立がん研究センター中央病院
17:30 -18:30	もっと知ってほしい がんロコモ！ ～運動器症候群～（仮） 共催：久光製薬 森岡 秀夫 先生 国立病院機構東京医療センター	日々進化し、 激変するエビデンスの中で、 肺がんの治療はどう作られるのか 共催：NPO法人肺がん患者の会 フォンステップ COMING SOON	子宮体がん 共催：NPO法人婦人科悪性腫瘍研究機構 上田 豊 先生 大阪大学	口腔ケア 百合草 健志志 先生 静岡県立静岡がんセンター	甲状腺がん 篠崎 剛 先生 国立がん研究センター東病院

※一部事前申込が必要なプログラムがございます。

*プログラム・講師は予告なく変更になる可能性があります。最新の情報はWEBサイトでご確認ください。

会場	研究棟1F			研究棟8F	研究棟13F	
時間	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第6会場	第7会場
9:30	開場（受付開始）			8Fと13Fは予約制です！ お申込みはWEBから！		
10:00 -11:00	乳がん 中村 清吾 先生 昭和大学病院 大野 真司 先生 がん研究会有明病院	胃がん 森田 信司 先生 国立がん研究センター中央病院	リンパ腫・白血病 に対する新薬 伊豆津 宏二 先生 国立がん研究センター中央病院	食道がん 浜本 康夫 先生 慶應義塾大学	肉腫(サルコーマ) 少人数ミーティング 川井 章 先生 国立がん研究センター 仲野 兼司 先生 がん研究会有明病院 司会：押田 輝美 先生 肉腫の会 たんぽぽ	遺伝性腫瘍 少人数ミーティング 田辺 記子 先生 国立がん研究センター中央病院
11:30 -12:30		すい臓がん 浜本 康夫 先生 慶應義塾大学	多発性骨髄腫 鈴木 憲史 先生 日本赤十字社医療センター	11:30-12:45 小児がん 共催：日本小児がん研究グループ 組織球症 COMING SOON 腎臓病 COMING SOON 横紋筋肉腫 宮地 充 先生 京都府立医科大学 12:45-14:00 長期フォローアップ・AYA世代(仮) 共催：日本小児血液・がん学会 COMING SOON	12:00 -13:30 精巣腫瘍 少人数ミーティング 河合 弘二 先生 筑波大学附属病院 司会：改發 厚 さん 精巣腫瘍患者友の会	肺がん 少人数ミーティング 後藤 梯 先生 国立がん研究センター中央病院 司会：長谷川 一男 先生 肺がん患者の会 フォンステップ
13:00 -14:00	精神腫瘍学 大西 秀樹 先生 埼玉医科大学国際医療センター	緩和ケア 行田 泰明 先生 医療法人社団淳友会 わたクリニック	がんと妊娠 オンライン相談の可能性を考える 共催：日本がん・生殖医療学会 COMING SOON	腎がん 近藤 恒徳 先生 東京女子医科大学東医療センター	14:00 -15:30 婦人科がん 少人数ミーティング 勝俣 範之 先生 日本医科大学武蔵小杉病院 司会：大友 明子 さん CNJスタッフ BEC 担当	男性乳がん 少人数ミーティング 沢田 晃暢 先生 昭和大学病院 司会：大友 明子 さん CNJスタッフ BEC 担当
14:30 -15:30	がんゲノム医療 間野 博行 先生 国立がん研究センター 研究所 座長：藤原 康弘 先生 国立がん研究センター中央病院	乳房再建 共催：NPO法人E-BeC 小宮 貴子 先生 東京医科大学	前立腺がん 赤倉 功一郎 先生 JCHO 東京新宿メディカルセンター	希少がん・より良い医療のために 共催：国立がん研究センター中央病院 希少がんセンター 西田 俊朗 先生 国立がん研究センター中央病院 川井 章 先生 国立がん研究センター中央病院 吉田 朗彦 先生 国立がん研究センター中央病院	16:00 -17:30 若年性乳がん 患者の治療と 妊娠性の問題 少人数ミーティング 北野 敦子 先生 聖路加国際大学 司会：御船 美絵 さん 若年性乳がんサポート コミュニティ Pink Ring	原発不明がん 少人数ミーティング 勝俣 範之 先生 日本医科大学武蔵小杉病院
16:00 -17:00	がんゲノム教育 田村 研治 先生 国立がん研究センター中央病院	治療抵抗性となった 患者家族への話 小澤 竹俊 先生 めぐみ在宅クリニック	16:00-17:00 がん栄養のこと 井田 智 先生 がん研究会有明病院 17:00-18:00 食事 でがんを予防するには 小西 敏郎 先生 東京医療保健大学			
17:00-	17:15-18:00 がん哲学外来 榎野 興夫 先生 順天堂大学	17:10-18:10 漢方と補完代替療法 上岡 保仁 先生 国立がん研究センター 研究所 大野 智 先生 大阪大学大学院				
18:00 -18:30	クロージングセッション 藤原 康弘 先生 国立がん研究センター中央病院 後藤 梯 先生 国立がん研究センター中央病院 司会：橋本 佐与子 さん MBS毎日放送					

1Fのラウンジ
「ミニステージ」では、

- 大妻女子大学 川口美喜子先生による「食事レシピ紹介」
 - NPO法人がんと暮らしを守る会による「障害年金」「固定費を下げる方法」ミニレクチャー
- など、がん患者さん・家族に有益な情報をお届けします！

5月26日(土) 開催@ベルサール八重洲 第5回OCTがんサバイバー・スピーキング・セミナー

全国から選ばれた29名が東京に集結し、「がんサバイバーの力を社会に発信していくために知っておくべきこと」について、一日学びました。

今回ご協力いただいた先生は、聖路加国際病院副院長 山内英子先生、グローバルヘルスコンサルティング代表 アキよしかわ氏、厚生労働省 関東信越厚生局 医事課 武末文男氏、山梨まんまくらぶ代表 若尾直子氏、各先生方から未来につながる貴重な講義をいただきました。卒業生の発表者は、長谷川智美さん、前田留里さん、長谷川和夫さんの3名。ご自身の体験と現在の活動についてお話しいただきました。後半の、自分の原稿を作るワークショップでは、これから自分が伝えたいことを5分間にまとめるという難問に取り組み、参加者同士で

アドバイスをしながら磨きあい、最後に5名の参加者が発表しました。伝えたいことを明確に絞って、ポイントを押さえての発表に、参加者・講師・オブザーバーがうなる出来栄。感動の一日でした。

今回ご協力いただいた先生は、聖路加国際病院副院長 山内英子先生、グローバルヘルスコンサルティング代表 アキよしかわ氏、厚生労働省 関東信越厚生局 医事課 武末文男氏、山梨まんまくらぶ代表 若尾直子氏、各先生方から未来につながる貴重な講義をいただきました。卒業生の発表者は、長谷川智美さん、前田留里さん、長谷川和夫さんの3名。ご自身の体験と現在の活動についてお話しいただきました。後半の、自分の原稿を作るワークショップでは、これから自分が伝えたいことを5分間にまとめるという難問に取り組み、参加者同士で



OCT 活動の詳細は↓
<http://www.octjapan.jp>

がんを共にのりこえよう

2018年始動!

男性乳がん患者さんの会『メンズBC』@お茶の水

皆さんは「男性乳がん」についてご存知ですか? 現在、毎年500〜600人の患者さんがり患しています。しかし、り患者が少ないことから、孤独に治療に向き合っている方が多く、情報も十分にいきわたっていないのが現状です。同病の人に会ったことがない、副作用の対処法が判らない、会社に体調についてどう説明したらいいのかわからないなど、男性乳がん患者さんが抱える様々な悩み。そんな思いを語り合える場を作ろうと始めたのが『メンズBC』です。参加者は、患者さんのご家族を含め1月4名、4月13名の方にご参加いただきました。毎回、乳腺外科の先生をお呼びしています。会の様子は、NHK「おはよう日本」をはじめ、多くのメディアで取り上げていただいております、関心も高まっています。

今回は、8月12日JCF内にて男性乳がんの会を開催します。ぜひ、多くの患者さんの参加をお待ちしております。

お申込先



<https://goo.gl/x5bJBe>



患者さんのための 日本乳癌学会 編 新刊 乳がん 2016年版 発売!! 診療ガイドライン

乳がん患者さんやそのご家族が、いま知りたいことについて、正しい情報をわかりやすく解説。最新の情報をもとに、68の質問(Q)に対する回答(A)と解説を掲載。



B5判 240頁 定価(本体2,300円+税) ISBN978-4-307-20354-8

<http://www.kanehara-shuppan.co.jp/> 金原出版





スタッフの中に、BEC 2期山口ひとみさんがいる。山口さんは元看護師で、病院

ピアサポーター

がんとセンター開設当時は土井先生一人で診察をしていたが、同じ志を持った医師、看護師、ピアサポーターがうわさを聞いて徐々に全国から集まってきた。「うちは給料はそんなに高くないけど、責任は重いんですよ。だからやりがいがあるんだと思います。」気が付いたら、年間症例数が就任時の13倍になっていた。この病院では、「みんなが主役」。今では土井先生の理念がスタッフのみならず、患者さん、患者さんのご家族にも伝わっている。

山口ひとみさんに聞く自分の役割

医療法人湘和会湘南記念病院は、緑豊かな鎌倉の住宅街の一角にある。今回、BECの講義の中で特に人気の高い土井先生がいらつしやる湘南記念病院乳がんセンターを訪ねた。

支える医療を実践するチームの力

乳がんセンター開設当時は土井先生一人で診察をしていたが、同じ志を持った医師、看護師、ピアサポーターがうわさを聞いて徐々に全国から集まってきた。「うちは給料はそんなに高くないけど、責任は重いんですよ。だからやりがいがあるんだと思います。」気が付いたら、年間症例数が就任時の13倍になっていた。この病院では、「みんなが主役」。今では土井先生の理念がスタッフのみならず、患者さん、患者さんのご家族にも伝わっている。

の仕事も理解していた。しかし、患者の立場になった時に、今までの概念が覆されるような新しい目線を得ることになった。この経験を何かの役に立てたら、例えば、病院から家に帰るまでに、病気のことも病気の以外の話も気軽に話せる場所があったらいいのではないか、不安な気持ちをそのまま自宅に持ち帰らず、ちよつと置いていけるような場所があったらいいのに、と考えていた。そんな二人をCNUが引き合わせた。山口さんが自分の患者さんでなかったことも決め手の一つだったと言う。自分の患者さんだったら自分のことを褒めてくれるだろう。だが、本当に必要な人は、先生寄りでもなく看護師寄りでもなく、冷静な第三者の立場の人、きちんとした乳がんの知識を持っている人。そんな様々な偶然が重なり、山口さんがチームに入ってから、あつという間に10年になる。

相談内容は、病気の事にとどまらず、人生設計まで様々、まるで人生相談のようなお部屋、しかも長い付き合いになる方が多いという。病院に勤めるということとは、終末期の患者さんとの関わりもあり、患者会では体験しないだろうことも起こる。4時間の業務中、しっかりと話してできる人は、一日4〜5人と限られる。さらに資料を取りに来たり、ウィッグを見に来る人を含め

BECを訪ねて、湘南記念病院乳がんセンター訪問

理想の乳がん診療を実現した湘南記念病院乳がんセンター



土井先生が手にしている小さなぬいぐるみは「痛くない象くん」。患者さんのお嬢さんが毎月作って来て待合室に置いてある。お嬢さんの心遣い、他の患者さんにもどうぞ、という気持ちを受け止めるのはBECの大事なお仕事の一つ。



ると、一日10名前後が利用している。相手に任せる、信頼する、それがチームの礎。多職種のそれぞれの人達が主体的に動く組織の秘訣は「仕事を任す」、「いいところを褒める」、そして、最後の責任は私が取るからと「自由にやらせること」だという。懐深い精神が、チーム土井の根底にある。患者さんとの細やかなコミュニケーションは、忙しい医療者の代わりにBECが対応。ここでは、医師、看護師、そして他の医療従事者に加えてBEC、それぞれが最大限に力を発揮している。誰もが、こんな病院で治療したいだろうし、こんなチームに入りたいと思うだろう。湘南記念病院をロールモデルとして、多くの病院にピアサポーターが、常駐する時代が一日も早く来てほしい。

第14期

BEC乳がん体験者 コーディネーター養成講座

開講は7月5日(木)から。

募集開始!

今年度から、講義数が増え、さらにバージョンアップしました。「アドバンスケアプランニング」の講義を新設しました。千葉大学増島麻里子先生が担当します。また、「乳がんの原因と予防」にがん研究センター山本精一郎先生が登壇。その他、昨今の現状を反映したプログラムで、皆様のお申込みをお待ちしております!



※ BEC 認定者全国都道府県制覇を目指し、下記県にお住まいの方に特別割引をご用意いたしました。

山形県・福島県・栃木県・富山県・新潟県・石川県・福井県・島根県・熊本県・大分県にお住まいの方、

特別割引料金【いちばん星割引】が利用出来ます! 通常前期受講料: 定価 90,000 円のところ、70,000 円で受講いただけます!

詳しくは、cinbec@cancernet.jpへお問い合わせください。



監修：神奈川県立がんセンター
血液内科部長の金森平和先生

造血幹細胞移植（骨髄移植）は提供するドナーさんや近年増加している臍帯血を提供してくれるお母さん（とその赤ちゃん）がいて初めて成立する医療です。

白血病をはじめとする主に血液がんの患者さんが、ドナーさんや臍帯血による造血幹細胞の提供を待っています。

一人でも多くの「救える命を救う」ために、神奈川県を中心とした造血幹細胞移植支援の輪が広がるよう、WEBサイト「START TO BE」を6月30日にオープンしました。造血幹細胞移植治療、骨髄バンクや臍帯血バンク等について多くの人に知ってもらい、血液がんの患者さんやご家族、ドナー登録を考えている方やドナー登録されている方、臍帯血の提供を考えている方、そのほか多くのサポーターを支援する内容になっています。

WEBサイトは神奈川県立がんセンター、血液内科部長の金森平和先生に総監修をお願いし、患者・家族・ドナー登録者・サポーターという全ての立場の皆様を知ってほしい情報を集約することを目指して、少しずつ充実させていきます。

パーソナライズドコンテンツという仕組みを採用し、登録された方には、その方に合った情報がマイページで集約されます。

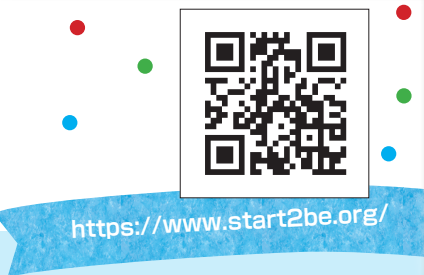
痒い所に手が届く、あふれる情報の中から探し当てる情報ではなく、あなたにとって必要な情報が、科学的根拠に基づいた正しい情報が、マイページにアクセスするだけで表示されます。

今回新規にWEBサイトへのサポーター登録してくださった方で希望者には登録順300名にプロジェクト発足を記念して作成したピンバッジをお送りしています。インスタ映えする素敵なピンバッジを身に付けてSNSにアップしてみませんか？

当プロジェクトには血縁ドナー経験者の古賀と臍帯血移植経験者で看護師の池田が担当しています。

私たちの経験と熱い想いを込めて運営していきますので是非、ご活用ください。そして、応援お願いします！

START TO BE



HOT NEWS

CancerNetJapan
×
神奈川県

Start to Be
～造血幹細胞移植総合支援プロジェクト～

2018年4月より神奈川県との協働事業を発足しました

SNS UP!

サポーター登録者には、300名に発足記念ピンバッジを送付。

もっと知ってほしいシリーズ冊子に関するアンケートを実施

(全国のがん診療連携拠点病院対象)

依頼件数…435施設、

アンケート回収数…160 回収率36.7%

(主にがん相談支援室からの回答)

■相談支援センター等で冊子シリーズを掲示、利用していますか？

利用している 92.5%

■冊子の設置場所

「相談支援センター内

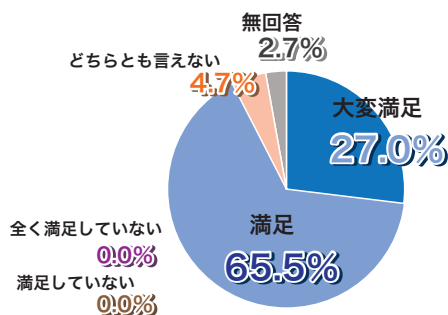
」「院内図書スペース(22.3%)」での活用が伸びている他「がんサロン」「ピアサポート開催日」「セミナーやイベント」などで利用されている

■冊子の活用方法

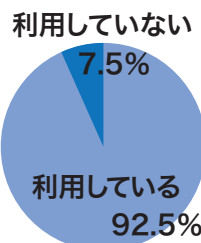
ラック等への設置だけでなく、患者さんへの説明用資料として(相談支援センター等)広く活用されるようになってきている

■冊子の満足度

大変満足・満足と回答したのは合わせて92.5%と非常に高評価で、医療機関での認知度、活用度、冊子への信頼度が高まっているのか分かりました。



図※冊子の満足度について教えてください

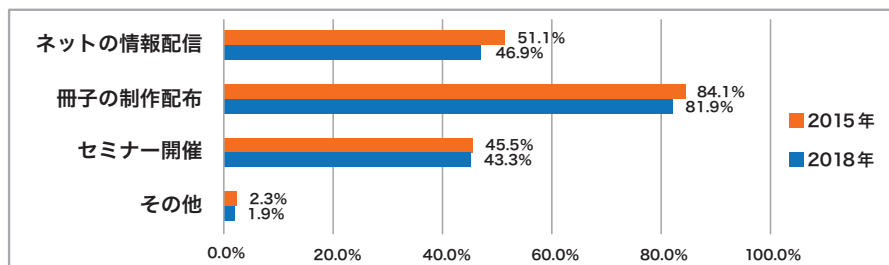


■冊子についてのご意見・ご要望 ※一部抜粋

- 絵や図が入れてあり読みやすく、理解しやすい
- 詳細に記載されており患者さんから高評価
- 相談に来られた患者さん・ご家族に説明する際に役立つ
- インターネットが苦手な高齢者もおられるがん種に限らず沢山のシリーズが発行されており、活用しやすい
- ガイドラインに沿って記載されている点が良い

● *要望として、冊子に取り入れて欲しいテーマを多数いただきました。がん就労、AYA世代の相談窓口の情報、食道がん、社会保障について、がんとお金、在宅療養、緩和ケア、がんリハビリテーション、心のケア、補完代替療法、放射線療法 他

● *CNJの活動についても多数ご意見を頂きましたが、冊子への期待が高いことが分かりました。ガイドラインの改訂に伴って冊子も改訂を進められるようにしたいと思います。そのためには、皆様からのご支援、ご寄付が不可欠です。是非、ご協力をお願い致します。



図※ CNJに期待する活動(複数回答可)

もっと知ってほしいシリーズ

冊子新規に2冊作成

「もっと知ってほしい」

急性骨髄性白血病のこと



白血病は今や不治の病ではありません。標準的な治療法・正しい情報・患者さんの体験談などをまとめています。

「もっと知ってほしい」

がんの薬物療法の副作用のこと



治療にあたり最も大事な「重大な副作用に発展するかもしれない兆候を見逃さない事」に注目して、がんの薬物療法を受ける全ての患者・家族に知っておいてほしい情報をまとめています。

冊子は全て無料でダウンロードが可能です。→ <http://www.cancernet.jp/category/publish>

「前立腺がんセミナー 今年全国4箇所で開催」 もっと話そう前立腺がん転移のこと くらしを守る早期対応のすすめ

前立腺がんは、男性のがんのなかで、胃がん、肺がんに続き3番目に多い疾患です。比較的進行が遅いと言われていますが、一方で転移を起こす割合が高いことはあまり知られていません。去勢抵抗性前立腺がんになった患者さんのおよそ8割以上が骨転移を有しており、骨の痛みや骨折などは、日常生活に支障を来すことから、早期診断や治療が重要となります。本セミナーは、患者さんや患者さんのご家族が、骨転移を含む前立腺がんの転移について知り、転移の早期発見や治療の重要性について深く理解すること、QOLを維持することを目的として、バイエル薬品株式会社、NPO法人尿友倶楽部との共催で開催します。さらに、本セミナーは情報提供だけでなく、来場者間でコミュニケーションをとりながら、共に考え学ぶ参加型のセミナーです。



6/24 福岡 座長：江藤 正俊先生（九州大学大学院医学研究院 泌尿器科学分野 教授）
他登壇者

もっと話そう

前立腺がん転移のこと～ 前立腺がんセミナー2018

岡山 | 9月2日(日)
岡山国際交流センター 国際会議場
札幌 | 9月29日(土)
札幌市教育文化会館 305



「肺がん疾患啓発キャンペーン2018」 もっと知ってほしい 肺がんのこと

2013年より日本イーライリリー株式会社と共催している表題の肺がんセミナーは、5年目を迎え、これまで全国で14回、トータルで1880名の方にご参加いただきました。セミナーを続けていくと、新規薬剤の登場やガイドラインの変更など、肺がん治療がこの5年間で大きく変わっていくことを目の当たりし、治療の進歩に感動しながらも、新しい情報を常にキャッチしておくことの重要性を実感します。

今年は4月22日に広島県呉市で呉医療センターと3団体共催で開催し、300名を超える方にご参加いただきました。肺がんの概要、CT・PETの診断、外科治療、薬物療法、高精度放射線療法のお話から、禁煙のお話、患者会の活動についてと盛りだくさんの内容で、参加者からは「知らないことばかりで思いを新たにしました。よい勉強になりました」「先生のお話を聞いて安心して治療を受けることができます。」などの声が寄せられました。



↑ 講演の様子は
こちらから

もっと知ってほしい肺がんのこと2018

兵庫 | 10月27日(土)
兵庫医科大学 平成記念会館
徳島 | 11月4日(日)
徳島 グランヴィリオ

胃がんキャラバン 胃がん市民公開講座は 年に3地区で開催します

2017年度の胃がんキャラバンは、10月に岡山市、12月にさいたま市、今年1月に鹿児島市の3地区にて開催しました。登壇者は総勢20名、合計503名の皆様にご参加いただきました。今年度も日本イーライリリー株式会社の協賛を受け、6月に新潟市、9月に富山市、11月に広島市の3地域で計15名の先生方にご登壇いただく予定です。胃がんについて最新医療情報ばかりではなく、がんゲノム医療、患者相談の現場での話などのトピックに加え、サブライズ企画も計画中です。胃がんのプロジェクトは今年も更に充実した内容で、患者さん・ご家族、一般の皆様へ役立つ情報を発信してまいります。



市民公開講座～

もっと知ってほしい胃がんのこと2018

富山 | 9月29日(土)
富山国際会議場 多目的会議室
広島 | 11月10日(土)
広島 YMCA 国際文化センター 大ホール





3/3 当日・過去のセミナー動画は以下で無料視聴できます
→ <http://www.cancernet.jp/brc/videos>

ブルーリボンキャラバン〜 もっと知ってほしい大腸がんのこと 2018

福井 | 7月21日(土)

福井県済生会病院 集学的がん診療センター 市民公開講座

岐阜 | 10月14日(日)

岐阜大学病院 県民公開講座

大阪 | 11月11日(日)

大阪国際がんセンター 市民公開講座

2018年3月3日(土)、東京医科歯科大学と共催で、東京医科歯科大学 M&D タワー2F 鈴木章夫記念講堂にて、ブルーリボンキャラバン in 東京を開催しました。当日は、505名の方にご来場いただきました。講堂では、大腸がん治療に携わる医師による講演のほか、大腸がんの再発に関する体験談、Q&A トークセッションを行いました。また、ホワイエでは、11団体によるブース出展があり、普段、目にする機会が少ない大腸がんの検査・診断・治療に用い

られる医療機器の展示や操作体験、患者会や支援団体による出展が立ち並び、大変好評をいただきました。参加者からは「一流の先生方の講演、このような大規模な講演会は他にないと思います。職員さんの対応も良かった。」とても勉強になりました。不安だった気持ちも少し楽になりました。治療法も色々あるとの事で、担当医と治療法に関して話し合いができて良かったです。自分たちも少しは情報を知っておくのが良いと思います。感想をいただきました。

感想をいただきました。

ブルーリボンキャラバン in 2018 東京
国際的な大腸がんの啓発月間に開催。
500名超の来場者があり盛会にて終了。

CNJを知っていただくための動画が完成しました！
PVプロボノの協力で、
CNJのプロモーションビデオを作成しました。

「CNJって何をやっている団体ですか？」とよく聞かれることがあります。私たちの団体のことを知ってもらうために、PVプロボノの力を借りてプロモーションビデオを作成することになりました。PVプロボノ (<http://pvprobono.com/index.html>) とはCMやTV、映画などの制作現場で活躍するプロの映像クリエイター集団が、ドキュメンタリー映像からエモーショナルな動画まで、クオリティの高いプロモーションビデオの企画制作を通じて、NPOやNGO、自治体などの社会貢献活動をサポートしている団体です。

CNJは、「がん患者、家族に向けて、科学的根拠に基づく正しいがん医療情報を発信する活動をしている団体」であるということ、何故その活動が大切で、必要かということ、どのように映像で表現しているかを伝えるのか、何度も話し合いを重ねてきました。昨春秋によつやく構成が決まり、私たちの活動に賛同してくれるサバイバーとCNJ理事の坪井正博先生(国立がん研究センター東病院)に出演を依頼。中目



6月12日 渋谷ラジオに
PVプロボノの製作メンバーと一緒に
CNJの古賀が出演しました。

完成した映像は
CNJのウェブサイトの
トップページのスライダー
にあります。
是非ご覧ください。

黒にあるとてもおしゃれなオフィスをお借りし、年末に慌ただしく撮影しました。カメラ7台に、照明さん、音声さんなど、これまで見たことないほど大勢のスタッフが協力してくださりました。今回、PVプロボノをを務められたのは、PVプロボノの理事で、長年TVCM制作会社でプロデューサー業務に携わられた高橋克人さん、高橋さんは胃がんのサバイバーでもあります。クリエイティブディレクターに宮原契子さん、ディレクターは穂積光さんが担当されました。これらすべてボランティアで携わってくださったPVプロボノの関係者の皆様には心より御礼申し上げます。

がんを知り、学び、集うCNJとは

自分にとってのベストは何か

2017 年度プロジェクトのご報告

昨年度実施セミナー・プロジェクトの
参加、利用者数は約 **10,115人**でした。

「がんチャンネル」での動画の
視聴総数は **390 万回**を越えました。

NPO 法人がんサネットジャパンは、これからも、科学的根拠に基づくがん医療情報をあらゆる方法で発信し続け、がんサバイバーの声を広く社会に届けることで、がんになっても、生きがいをもてる社会の実現に向け、邁進し続けて参ります。

(期間：2017 年 4 月 1 日～2018 年 3 月 31 日)

活動カテゴリ	プロジェクト	方 法	時 期	場 所	対 象	参加人数 (のべ)
疾患別 テーマ別 セミナー	大腸がん啓発 ブルーリボン キャンペーン	集客セミナー 4 回開催	7、9、11、 3 月	呉、高知 札幌、東京	患者・家族等	1,579
		特設 Web サイト 運営	通年	Web	患者・家族等	
		活動に賛同する 医師アンバサダー	通年	47 都道府県	医師ら 99 名	
		啓発グッズの 作成・販売	通年	Web・ブース	患者・家族等	
	肺がん疾患治療啓発キャンペーン	集客セミナー 2 回開催	9、10 月	青森、京都	患者・家族等	225
		特設 Web サイト運営	通年	Web	患者・家族等	
	小児がん啓発	レモネードスタンド実施	通年	全国 101 か所	一般	
		レモネードスタンド セミナー 6 回開催	7～9 月	東京 (3 箇所)、千葉 神奈川、埼玉	一般	221
		小児がん研究支援	3 月	NPO 法人日本小児 がん研究グループ/ 日本小児血液・がん 学会	小児がん治療研究団 体	
		小児がん患者支援 (新古 ウィッグプレゼント)	通年	全国	小児・AYA がん患 者	21
	子宮頸がん啓発 ティール&ホワイトリボンプロジェ クト	特設 Web サイト運営	通年	Web	一般・患者・家族等	
		啓発グッズの作成・販売	通年	Web	患者・家族等	
	Japan Cancer Forum	2 日で 54 のがんに関す る講義・プログラムを実施	8 月	東京	一般・患者・家族等	2,006
	MBS Jump Over Cancer	報道番組連動 キャンサー フォーラム	10 月	大阪	一般・患者・家族等	825
	胃がん疾患治療啓発キャンペーン	集客セミナー 3 回開催	10、12、1 月	岡山、埼玉、鹿児島	患者・家族等	503
		啓発グッズの作成	通年	Web	患者・家族等	
		特設 Web サイト 運営	通年	Web	患者・家族等	
	Over Cancer Together	ワークショップ形式のス ピーチ研修開催		東京	患者・家族等	30
	希少がんセミナー	セミナー 15 回開催	通年	東京	患者・家族、医療従 事者等	515
	前立腺がん啓発	集客セミナー	9 月	愛知	患者・家族、医療従 事者等	114
	放射線治療啓発	集客セミナー		高知	一般・患者・家族等	65
	乳がん	(Pink Ring 運営委託) 集客セミナー、おしゃべり会 4 回開催	9、11 12、3 月	宮城、北海道、 愛知、鹿児島	若年性乳がん体験者	100
相談事業	がん体験者ピアサポート	ピアサポーターの派遣 週 1～2 回	通年	大和市立病院ほか 神奈川県内 4 病院、 ピアサポートよこはま	患者・家族等	671
	がん情報ステーション	対面でのサポート	5-6 回 / 月開催	東京・大阪	患者・家族等	100

活動カテゴリ	プロジェクト	方 法	時 期	場 所	対 象	参加人数 (のべ)
養成講座	CCN:CNJ がんナビゲーター認定試験	Web 試験	12 月	Web	一般・患者・家族	60
	BEC：乳がん体験者 コーディネーター養成講座	Web-Learning 講座＋ 対面講習	7～3 月	Web・東京・大阪	乳がん患者ほか	58
	※ BEC/CIN アドバンス講習会	認定者限定セミナー	4 月	東京	BEC/CIN 認定者	39
	CSS：がん体験者スピーカー養成講座	Web-Learning 講座	通年	Web	患者	9
インターネット による情報発信	がんチャンネル	Web 配信、 SNS による拡散	通年	Web	一般・患者・家族等	動画視聴回数 累計 3,929,307 回
	20 疾患フェイスブック	SNS による拡散、 スポット広告	通年	Web	一般・患者・家族等	
	悪性黒色腫：メラノーマ	特設 Web サイトでの 動画配信	通年	Web	一般・患者・家族等	動画視聴回数 累計 27,605 回
	婦人科がん	特設 Web サイトでの 動画配信	通年	Web	一般・患者・家族等	動画視聴回数 累計 55,005 回
	血液がん	特設 Web サイトでの 動画配信	通年	Web	一般・患者・家族等	動画視聴回数 累計 75,778 回
	多発性骨髄腫	特設 Web サイトでの 動画配信	通年	Web	一般・患者・家族等	動画視聴回数 累計 8,713 回
	造血幹細胞移植	特設 Web サイトでの 動画配信	通年	Web	一般・患者・家族等	動画視聴回数 累計 7,216 回
	がんと生活のこと	特設 Web サイトでの 動画配信	通年	Web	一般・患者・家族等	
	がんと栄養のこと	特設 Web サイトでの 動画配信	通年	Web	一般・患者・家族等	
冊子	ブックレット作成・配布	3 冊作成、1 冊改訂、シリー ズ全 22 冊に	通年	全国がん診療連携拠 点病院ほか	患者・家族等	
学会・研究 団体等との 連携	8 団体共催セミナー	患者、家族向けセミナー 共催	5 月	大阪	一般・患者・家族等	146
	ONCOLO Meets Cancer Experts (OMCE)	患者、家族向けセミナー 共催	9 回 (4 月～12 月)	東京	一般・患者・家族等	322
	NPO 法人近畿がん診療推進ネット ワーク	医療従事者向けセミナー 企画・運営	3 月	大阪	医療従事者	153
	第 15 回日本臨床腫瘍学会学術集会	医療者向けセミナー企画 運営	6 月	福岡	医療従事者	54
	第 15 回日本臨床腫瘍学会学術集会	患者・家族向けプログラ ム運営・協力	7 月	神戸	患者・家族等	
	日本肝癌研究会	イブニングセミナー企画 運営	7 月	東京	医療従事者	100
	青森県がんピアサポート研修会	研修会企画・運営		青森	一般・患者・家族等	30
	第 4 回東京医科歯科大学市民公開 講座	協力&ブース出展	10 月	東京	一般・患者・家族等	436
	第 55 回日本癌治療学会 学術集会	ブース出展・ デジタルポスター発表・ シンポジウムパネリスト発表	10 月	神奈川	医療従事者	
	東京都文京区	ブース出展		東京	一般・患者・家族等	531
	地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター 日本式総合リハビリテーション構築 コンソーシアム	日露国際交流 シンポジウム 運営協力	9 月	大阪	医療従事者	70
企業協働	かつらのデシリース	提携サロンにてス タイルング・提供	通年	全国	患者	178
	ウィッグな帽子	提携サロンにて スタイルング・提供	通年	全国	患者	11
CNJ 活動報告	季刊誌作成・配布	季刊誌冊子発行・送付	夏、冬	事務局内	CNJ 支援者ら	各刊 3,000 部発行
その他	アンケート調査の実施	WEB アンケート調査	がんの生活と お金に関す ること 2 回、 CV ポートに ついて	Web	患者	941
	ジュニアインターンシップの受入	CNJ の活動体験と レモネードスタンド参加	7 月(3 日間)	東京	中学生	2
	企業に向けた事業	社内向け研修企画実施、社内向け動画制作等				

希少がん Meet the Expert 2018

参加費
無料

日時：毎月第1/第3金曜日 19:00～20:30

場所：国立研究開発法人 国立がん研究センター中央病院 1F 希少がんセンター待合

当日の講義動画をWEBにて公開しています。 https://oncolo.jp/rarecancer_mte2018/

開催情報

第26回

腹膜がん

2018年
8月3日
(金)

講師：加藤 友康
(希少がんセンター／国立がん研究センター中央病院 婦人腫瘍科)
講師：須藤 一起
(希少がんセンター／国立がん研究センター中央病院 乳腺・腫瘍内科)

第31回

肉腫(サルコーマ)～体幹の肉腫～

2018年
10月19日
(金)

講師：中谷 文彦
(希少がんセンター／国立がん研究センター中央病院 骨軟部腫瘍・リハビリテーション科)
講師：遠藤 誠
(九州大学病院 整形外科)

第27回

肉腫(サルコーマ)～診断～

2018年
8月17日
(金)

講師：川井 章
(希少がんセンター／国立がん研究センター中央病院 骨軟部腫瘍・リハビリテーション科)
講師：吉田 朗彦
(希少がんセンター／国立がん研究センター中央病院 病理科)

第32回

神経内分泌がん

2018年
11月2日
(金)

講師：森実 千種
(希少がんセンター／国立がん研究センター中央病院 肝胆膵内科)

第28回

脳腫瘍

2018年
9月7日
(金)

講師：成田 善孝
(希少がんセンター／国立がん研究センター中央病院 脳脊髄腫瘍科)

第33回

成人T細胞リンパ腫・
白血病とT細胞リンパ腫

2018年
11月16日
(金)

講師：伊豆津 宏二
(国立がん研究センター中央病院 血液腫瘍科)

第29回

消化管神経内分泌腫瘍

2018年
9月21日
(金)

講師：本間 義崇
(希少がんセンター／国立がん研究センター中央病院 消化管内科)

第34回

胸腺腫・胸腺がん

2018年
12月7日
(金)

講師：後藤 倬
(希少がんセンター／国立がん研究センター中央病院 呼吸器内科)

第30回

腺様嚢胞がんと頭頸部の希少がん

2018年
10月5日
(金)

講師：吉本 世一
(希少がんセンター／国立がん研究センター中央病院 頭頸部腫瘍科)
講師：米盛 勸
(希少がんセンター／国立がん研究センター中央病院 乳腺・腫瘍内科)

第35回

希少皮膚がん
～乳房外パジェット病・メルケル細胞がん～

2018年
12月21日
(金)

講師：山崎 直也
(希少がんセンター／国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科)

共催：国立がん研究センター 希少がんセンター / 認定 NPO 法人がんネットワークジャパン / がん情報サイト「オンコロ」

2018年 8月5日(日)

13:00 開場 | 13:30 ~ 15:30

場所：神奈川県立こども医療センター

夏休み公開講座 ～もっと知ってほしい
小児がんのこと～レモネードスタンド体験～

<http://www.cancernet.jp/24953>

2018年 8月21日(火)

10:30 開場 | 11:00 ~ 13:00

場所：聖路加国際病院

夏休み公開講座 ～もっと知ってほしい
小児がんのこと～レモネードスタンド体験～

<http://www.cancernet.jp/24979>

レモネードスタンドジャパン

本当にありがとうございます ～2017年度助成結果のご報告～

2017年度、小児がん支援のレモネードスタンドは全国120か所で開催され、3232944円の募金が集まりました。全国の中高高校生、大学生、企業の方、大人の皆様誠にありがとうございました。皆様からのご寄付は、①小児がん治療研究団体2団体への寄付(一般社団法人日本小児血液・がん学会、NPO法人日本小児がん研究グループ)、②小児がん・AYA世代のがん患者へ新古ウィッグプレゼント、③レモネードスタンド事務局運営費に充てさせていただきます。

日本小児がん研究グループ 理事長 水谷修紀先生曰く「小児がんは、治りやすいがん、治りにくいがんがあることが分かります。治りやすいがんはより早く治るよう、治りにくいがんは治るよう、増々の研究が必要です。小児がん研究には毎年2000万ほどの費用が必要です。今後とも応援をお願いいたします」

<http://www.lemonadestand.jp/>

海外がん医療 TOPICS

プレジジョン医療に向け、米国で100万人を対象に ゲノムと健康状況、生活習慣の研究を開始

米国国立衛生研究所（NIH）は5月、米国に住む多様な人種、社会背景を網羅する100万人の健康データとゲノム情報を長期的に収集する大規模研究の実施を発表しました。患者一人ひとりに適したプレジジョン医療の実現へと、さらに歩みを進めるための研究です。

米国では過去10年にわたり、「がんゲノム・アトラス（TCGA）」と呼ばれる大規模な研究で、幅広いがん種についてゲノム解析をしてきました。体内で腫瘍がどのように、なぜ発生するかが解明できれば、個別化したより有効な、新たな治療法の開発に役立ちます。

今春にはTCGAの集大成として、33種のがんを示す1万以上の腫瘍から収集した臨床分子情報をまとめた「PanCancer Atlas（汎がんアトラス）」も公開されました。詳しくは国立がん研究所の発表をご覧ください。
(<https://www.cancerit.jp/59225.html>)

その一方で、同じ遺伝子変異を持っている人が、同時期に同種のがんを発症し、同じ転帰をとるわけではありま

せん。人種、性別、年齢、健康状態、経済状況、生活環境、ライフスタイルなども大きく影響すると、研究者らは考えています。

現在おこなわれている様々な治療は、臨床試験で安全性や有効性が確認されていますが、ボランティアによる臨床試験参加者の数には限りがあり、参加条件に合致している人だけが対象です。また一般的には、多数派である白人患者の参加者が多い傾向にあります。

そこで「All of Us」と名づけられた今回の新たな研究では、性別、人種、年齢、地域などの多様性を真に反映させるため、100万人の参加を募ります。遺伝子データおよび、健康情報、食生活や睡眠、運動習慣、生活環境など様々な情報を10年にわたって収集、分析するという野心的な国家プロジェクトです。米国議会は今後10年の本研究の費用として、14億5000万ドル（約1606億円）の予算措置を承認しています。

情報提供／海外がん情報リファレンス

CNJ staff report

第7回ハワイ交流セミナーに参加！

キャンサーネットジャパン東京事務局：濱島 明美

2018年2月20日～22日、高知大学医学部附属病院 がん治療センターが毎年開催されているハワイ国際交流セミナーに参加して来ました。オアフ島にあるハワイの中核病院 The Queen's Medical Center、低所得者やホームレスの診療を行っている（NPO 団体が運営している）Kalihi Palama Health Center、ハワイ在住の日本人向けクリニック St.Luke's Clinic、ハワイ大学医学部の University of Hawaii Medical School を訪問し、それぞれの施設のスタッフから丁寧なガイド入り施設案内を受けました。ハワイでは、退院した患者さんが病院に戻って来た場合は、退院説明をした看護師の減点や、移民のため17か国語対応できるようにしていること、医学部生は1年生から患者さんとのコミュニケーション授業があることなど、患者さんとのコミュニケーションに重点を置いていることが分かりました。

また、セミナーでは、CNJの活動、ブルーリボンキャンペーンの活動を発表させていただきました。機会をくださった高知大学 小林道也先生、一緒に参加させていただいた皆様、ありがとうございました！



編集発行／認定 NPO 法人キャンサーネットジャパン 発行日／2018 年 7 月
CNJ Speakers 18 号（2018 年 July） 〒113-0034 東京都文京区湯島 1-10-2 御茶ノ水 K&K ビル 2 階 <http://www.cancernet.jp>
電話／03-5840-6072 FAX／03-5840-6073 E-mail／info@cancernet.jp

※次号は、Winter-2019 年 1 月発行になります。

Special
Thanks

CancerNet Japan

2017年度サポーターリスト

NPO 法人の活動は、その法人のミッションとビジョンに賛同を頂いた企業様・団体様、個人様の寄付、及び事業収益により行なわれています。

以下のリストは、NPO 法人キャンサーネットジャパンにご寄付、ならびに事業支援を頂いている企業様・団体様・個人様です。

サポーター企業

※掲載順：寄付・事業支援の規模

日本イーライリリー株式会社
アッヴィ合同会社
メルクセロノ株式会社
ライフネット生命保険株式会社
株式会社クリニカル・トライアル
バイエル薬品株式会社
ヤンセンファーマ株式会社
MSD 株式会社
アルフレックスファーマ株式会社
武田薬品工業株式会社
株式会社資生堂
株式会社メディコン
株式会社グローバルヘルスコンサル
ティング・ジャパン
株式会社東京義髪整形
株式会社エス・エム・エス
株式会社ウェルビー
テルモ株式会社
セコム損保保険株式会社
日本メジフィジックス株式会社
アボットジャパン株式会社
MNC NewYork 株式会社
株式会社ダイアナ
株式会社 STSP (カマエイド)
株式会社グローバルウェイ
アストラゼネカ株式会社
金原出版株式会社
ラボコープ・ジャパン合同会社
日本ベリンガーインゲルハイム株式会社
大阪ガス株式会社
株式会社コルボ
ネスレ日本株式会社
ジョンソン・エンド・ジョンソン
株式会社 メディカルカンパニー
興栄工業株式会社
株式会社洛兆
エデルマン・ジャパン株式会社
上海麗拓実業有限公司
株式会社大塚製薬工場
コロプラ株式会社
ニプロ株式会社

富士フイルムメディカル
アステラス製薬株式会社
コヴィディエン ジャパン株式会社
株式会社ツムラ
株式会社ヤクルト本社
エムズ保険株式会社
Multeepurpose
株式会社医学書院
株式会社バル・オネスト
株式会社ヤクルト本社医薬営業部 医薬広島支店
株式会社末徳屋医療器店
株式会社日経 BP
日本化薬株式会社
明治安田生命保険相互会社川越支社
Fraser's Hospitality Japan 株式会社
協和発酵キリン株式会社
高知ヤクルト販売株式会社
山本薬品株式会社

NPO 法人西日本がん研究機構
NPO 法人近畿がん診療推進ネットワーク
NPO 法人 JORTC
NPO 法人希望の会
NPO 法人日本小児がん研究グループ
NPO 法人ブレイブサークル運営委員会
NPO 法人肺がん患者の会ワンステップ
NPO 法人がんノート
NPO 法人婦人科悪性腫瘍研究機構
NPO 法人愛知がんセンターネットワーク
NPO 法人日本肺癌学会
NPO 法人エンパワリング
プレストキャンサー /E-BeC
公益財団法人前立腺研究財団
一般社団法人がんサバイバレンツ
一般社団法人日本小児血液・がん学会
一般社団法人日本皮膚悪性腫瘍学会
第 15 回日本臨床腫瘍学会学術集会
第 53 回日本肝臓学会
日本がん免疫学会
青森県健康福祉部がん・生活習慣病対策課
LAVENDER RING
電通有志の会

横須賀共済病院
済生会横浜市南部病院
大和市立病院 (神奈川県)
藤沢市民病院
相模原市
横浜市立市民病院
東京医科歯科大学
高知大学医学部
群馬県立がんセンター
埼玉県立小児医療センター
佐賀大学医学部内科学講座
血液・呼吸器・腫瘍内科
中皮腫・アスベスト疾患・患者と家族の会
樋口孝孝がん研究基金
MDRT
Pirates of Tokyo Bay

Nonprofit 非営利組織サポーター

※掲載順不同

Lemonade レモネードスタンド実施サポーター

※掲載順不同

青森県立木造高等学校 JRC 部
アヤルケミスト株式会社
石田奈緒
一般社団法人 something one
岩手県立久慈高等学校
鷲谷高等学校 写真部
エムズ保険株式会社
NPO 法人医療福祉連携の会
おいかわ矯正小児歯科
沖本可奈
お茶の水女子大学附属高等学校 アフガンボランティア部
株式会社キャリア・マム
株式会社 T・A・P たがみ運営事務局
ガールスカウト石川県第 7 団
ガールスカウト千葉県第 69 団
ガールスカウト千葉県第 91 団
熊本大学医学部附属病院がんセンター
クレンジングカフェ
晃華学園小学校
河野駿平
神戸大学医学部小児科ボランティア部
Open Future Club
ここちあーず

コマニー株式会社
古山裕美子
合同会社オフィス SK カンパニー
後藤恵
埼玉県立越谷北高等学校
静岡県島田市障がい者福祉連絡会
静岡県立沼津東高等学校
島根大学医学部附属病院 がん患者・家族サポートセンター
首都大学東京 健康福祉学部看護学科
尚絅学院高等学校 インターアクト部
星様名古屋中学校
創志教育 GRIT 村岡 世清
高岡龍谷高等学校 2 学年特進コース
千葉大学医学部
東急建設株式会社
東京医療保健大学 医療保健学部 医療栄養学科
東京学芸大学附属国際中等教育学校 ボランティア部
東京都立国際高等学校
となみ元氣道場
長生学園 茂原北校高等学校 ボランティア委員会
長野県篠ノ井高等学校犀峽校 3 年 1 組
長野県野沢北高等学校
中村百々花
中野万寿美
奈良県立畝傍高校

Media メディアサポーター

※掲載順不同

メディアサイト株式会社
MBS 毎日放送

新潟青陵大学短期大学部
新潟県立国際情報高等学校
新潟県立国際情報高等学校 海外大学進学コース有志
新潟県立国際情報高等学校 卒業生有志
日本医科大学看護専門学校
日本医科大学千葉北総病院
野島夕子
野中幸
花と香りの店カモマイル
兵庫県立東灘高等学校
広島府中教会学園こぼと幼稚園
日出学園 日出高等学校
北海道旭川東高等学校 英語部
北海道千歳高等学校 英語部
北海道千歳北陽高等学校 3 年 6 組
前田則子
みみみのレモネードスタンド
三浦詩織
水野瑛太
みんなのレモネードの会
メディータ・ソリューションズ株式会社
やはたみずのとう幼稚園
山口県立徳島商工高等学校
山口県立防府商工高等学校 2 年 3 組
山田千登勢
四日市こども園
Littlegems International School 東京ベイ校
レゴリスメディカルビューティー
レモナデザイン株式会社
和歌山県立熊野高等学校「異文化探求」選択者
渡邊弥香

Supporter 個人サポーター

※掲載順：五十音順・敬称略※掲載のご許可をいただいている方のみのご紹介です。

厚地孝子、板垣志保、伊藤雅代、伊藤恵、井上義章、岩澤絵梨、岩田圭子、植田哲夫、蝦名章、大串愛子、大澤朋子、大部祐子、尾形綾子、尾崎美知子、小原進、亀山裕之、金澤正人、川越央子、川崎治子、河原成美、川原真理子、北村敏江、久保貴恵、倉田晶子、桑原澄恵、小鹿学、後藤恵、櫻洋一郎、佐藤由美、佐藤玲子、信田絵里香、渋谷昌三、白川光政、田口佳子、竹内啓一、武田高德、田島玄太郎、田中友恵、田中由美、田畑聡子、坪内扶美、堂前直美、戸田直美、富内叙子、中久保明子、中島陽一郎、中野万寿美、中村百々花、丹羽和雄、野寄香平、野田さおり、野村亮太、馬場康二、福島さゆり、堀口美穂、本郷幸子、前田恵理子、前田利文、宗像若菜、森安真由美、谷島雄一郎、谷田部範子、矢野広恵、山崎明子、山崎宏之、山本東次郎、横田幸子、吉村寛子、若松幸吉

レモン原液提供：

ボッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社